

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|------------------------|---------------------------------|--|-------|-------|-----------------------------------|-----------|
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 鶴見 達也(愛知県がんセンター研究所) | 多角的解析によるEBウイルス発癌を抑制する新規薬剤開発とワクチン開発 | 3 | 34 | 2 | 12,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 稲葉 洋平(国立保健医療科学院 生活環境研究部) | たばこ規制枠組条約に基づいた有害化学物質の規制によるたばこ対策研究 | 2 | | 2 | 5,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 武藤 倫弘(国立がん研究センター研究所) | がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究 | 3 | 33 | 23, 64 | 52,800 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 湯川 恭至(国立がんセンター研究所) | ヒトパピローマウイルスを標的とする発がん予防の研究 | 2 | 21 | 9 | 44,200 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 津金 昌一郎(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 新規バイオマーカー開発による胃がんのハイリスクグループ同定のための研究 | 2 | | 51 | 21,500 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 佐川 元保(金沢医科大学 呼吸器外科学) | 低線量胸部CTによる肺がん検診の有効性評価のための無作為化比較試験 | 4 | 43 | 28 | 18,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 中村 正和(大阪がん循環器病予防センター予防推進部) | 発がんリスクの低減に資する効果的な禁煙推進のための環境整備と支援方策の開発ならびに普及のための制度化に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 14,800 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 村村 春彦(浜松医科大学 医学部) | ゲノム・遺伝子解析に基づく、胃がん・肺腺がん高危険度群の捕捉、及び予防標的分子の同定に資する研究 | 3 | 36 | 28, 51 | 13,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野3 革新的ながん予防法の開発に関する研究 | 稲葉 洋平(国立保健医療科学院 生活環境研究部) | たばこ規制枠組条約に基づいた有害化学物質の規制によるたばこ対策研究 | 2 | | 2 | 3,900 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 4 | 41 | 7, 28, 64 | 109,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 土屋 了介(国立がんセンター中央病院) | 新しい検診モデルの構築と検診能率の向上に関する研究 | 4 | 44 | 7, 28 | 100,650 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斉藤 大三(国立がんセンター中央病院) | 新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究 | 4 | 43 | 9, 11, 12, 14, 37, 42, 51, 61, 64 | 57,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がんセンター研究所) | がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 11, 25, 28, 51, 37 | 56,240 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 鈴木 隆一郎(大阪府立成人病センター研究所) | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 24,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森 正樹(九州大学生体防御医学研究所) | 医療費削減と患者負担軽減をめざした癌の新しい分子遺伝学的診断法の開発 | 4 | 41 | 7, 12, 51, 64 | 24,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案 | 4 | 42 | 27 | 22,500 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 三木 一正(東邦大学医学部医学科内科学講座) | 胃がんスクリーニングのハイリスクストラテジーに関する研究 | 4 | 43 | 51 | 18,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 金子 安比古(埼玉県立がんセンター研究室) | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 4 | 41 | 7, 27, 28 | 16,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山下 義博(自治医科大学医学部 ゲノム機能研究部) | 早期膀胱がん検出マーカーの同定 | 4 | 41 | 37 | 15,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 4 | 41 | 7, 28, 64 | 120,042 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 土屋 了介(国立がんセンター中央病院) | 新しい検診モデルの構築と検診能率の向上に関する研究 | 4 | 44 | 7, 28 | 81,870 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がんセンター研究所) | がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 11, 25, 28, 51, 37 | 65,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斉藤 大三(国立がんセンター中央病院) | 新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究 | 4 | 43 | 9, 11, 12, 14, 37, 42, 51, 61, 64 | 60,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 鈴木 隆一郎(大阪府立成人病センター研究所) | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 24,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森 正樹(九州大学生体防御医学研究所) | 医療費削減と患者負担軽減をめざした癌の新しい分子遺伝学的診断法の開発 | 4 | 41 | 7, 12, 51, 64 | 24,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案 | 4 | 42 | 27 | 22,500 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 三木 一正(東邦大学医学部医学科内科学講座) | 胃がんスクリーニングのハイリスクストラテジーに関する研究 | 4 | 43 | 51 | 18,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 金子 安比古(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所) | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 4 | 41 | 7, 27, 28 | 14,400 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山下 義博(自治医科大学医学部 ゲノム機能研究部) | 早期膀胱がん検出マーカーの同定 | 4 | 41 | 37 | 13,500 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 4 | 41 | 7, 28, 64 | 90,450 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がんセンター研究所) | がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 23, 51, 64, 37 | 85,800 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 齋藤 博(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 標準的検診法と精度管理や医療経済的効果に関する研究 | 4 | 44 | 28, 64 | 84,500 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|-----------------------|------------------------------|---|-------|--------|-----------------------------|-----------|
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斉藤 大三(国立がんセンター中央病院) | 新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究 | 4 | 42 | 7, 12, 28, 51, 54, 61, 64 | 70,200 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 成田 善孝(国立がんセンター中央病院) | 希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translational Research Informatics)システムの構築 | 7 | 72 | 6 | 70,200 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 北村 俊雄(東京大学医科学研究所) | レトロウイルス技術による癌抗原の細胞表面上カタログ化と癌の診断治療への応用 | 5 | 53 | 3, 4, 6, 25, 37, 42, 51, 64 | 53,625 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 戸井 雅和(東京都立駒込病院) | バイオマーカーを導入した原発性乳癌の集学的治療アルゴリズムの構築と意思決定過程の定式化に関する研究 | 5, 6 | 55, 64 | 7 | 39,390 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案 | 4 | 42 | 27 | 20,000 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森 正樹(九州大学生体防御医学研究所) | 医療費削減と患者負担軽減をめざした癌の新しい分子遺伝学的診断法の開発 | 4 | 41 | 7, 12, 51, 64 | 19,200 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 野守 裕明(熊本大学大学院 医学薬学研究所) | 肺腺癌の診断および悪性腫瘍度予測のためのAcetate-PETの臨床応用研究 | 4 | 42 | 28 | 18,607 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 鈴木 隆一郎(大阪府立成人病センター研究所) | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 16,800 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 三木 一正(東邦大学医学部医学科内科学講座) | 胃がんスクリーニングのハイリスクストラテジー | 4 | 43 | 51 | 14,400 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 金子 安比古(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所) | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 4 | 41 | 7, 27, 28 | 14,000 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器および診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 7, 28, 64 | 130,538 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がんセンター研究所) | がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 23, 51, 64, 37 | 94,094 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 標準的検診法と精度管理や医療経済的効果に関する研究 | 4 | 44 | 28, 64 | 71,472 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 成田 善孝(国立がんセンター中央病院) | 希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translational Research Informatics)システムの構築 | 7 | 72 | 6 | 63,838 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 北村 俊雄(東京大学医科学研究所) | レトロウイルス技術による癌抗原の細胞表面上カタログ化と癌の診断治療への応用 | 5 | 53 | 3, 4, 6, 25, 37, 42, 51, 64 | 62,000 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 豊(国立がんセンター中央病院) | 新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究 | 4 | 42 | 7, 12, 28, 51, 54, 61, 64 | 60,450 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 戸井 雅和(京都大学医学部附属病院) | バイオマーカーを導入した原発性乳癌の集学的治療アルゴリズムの構築と意思決定過程の定式化に関する研究 | 5, 6 | 55, 64 | 7 | 43,923 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案 | 4 | 42 | 27 | 25,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 門田 守人(大阪大学大学院 医学系研究科) | 消化器がん個別化医療におけるファンクショナルゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスの臨床応用と治療体制の確立 | 4 | 41, 42 | 23, 37, 51, 64 | 25,250 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 深尾 彰(山形大学大学院医学系研究科) | 新たな胃がん検診システムに必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 野守 裕明(熊本大学大学院 医学薬学研究所) | 肺腺癌の診断および悪性度予測のためのAcetate-PETの臨床的研究 | 4 | 42 | 28 | 20,331 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 金子 安比古(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所) | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 4 | 41 | 7, 25, 27 | 20,100 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器および診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 7, 28, 64 | 125,450 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がんセンター研究所) | がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 23, 51, 64, 37 | 96,720 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 標準的検診法と精度管理や医療経済的効果に関する研究 | 4 | 44 | 28, 64 | 74,360 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 豊(国立がんセンター中央病院) | 新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究 | 4 | 42 | 7, 12, 28, 51, 54, 61, 64 | 68,640 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 北村 俊雄(東京大学医科学研究所) | レトロウイルス技術による癌抗原の細胞表面上カタログ化と癌の診断治療への応用 | 5 | 53 | 3, 4, 6, 25, 37, 42, 51, 64 | 61,261 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 成田 善孝(国立がんセンター中央病院) | 希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translational Research Informatics)システムの構築 | 7 | 72 | 6 | 54,600 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 戸井 雅和(京都大学医学部附属病院) | バイオマーカーを導入した原発性乳癌の集学的治療アルゴリズムの構築と意思決定過程の定式化に関する研究 | 5, 6 | 55, 64 | 7 | 49,764 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター) | 大腸内視鏡検査による大腸がん検診の有効性評価 | 4 | 43 | 64 | 35,504 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案 | 4 | 42 | 27 | 26,400 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|-----------------------|---------------------------------|--|-------|--------|----------------------|-----------|
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 深尾 彰(山形大学大学院医学系研究科) | 新たな胃がん検診システムに必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 25,200 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 門田 守人(大阪大学大学院 医学系研究科) | 消化器がん個別化医療におけるファンクショナルゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスの臨床応用と治療体制の確立 | 4 | 41, 42 | 23, 37, 51, 64 | 25,200 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 金子 安比古(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所) | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 4 | 41 | 7, 25, 27 | 20,160 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 18,744 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器および診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 7, 28, 64 | 104,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がんセンター研究所) | がん検診に有用な腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 23, 28, 37, 51, 64 | 88,400 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 標準的検診法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究 | 4 | 44 | 7, 9, 28, 51, 64 | 72,488 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 豊(国立がんセンター中央病院) | 新しい内視鏡診断機器の臨床への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する調査研究 | 4 | 42 | 50, 51, 64 | 58,500 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター) | 大腸内視鏡検査による大腸がん検診の有効性評価 | 4 | 43 | 64 | 52,325 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 北村 俊雄(東京大学医科学研究所) | レトロウイルス技術と高集積がん組織アレイを利用した癌抗原同定とがんの早期診断治療への応用 | 4 | 41 | 4, 6, 12, 37, 42, 51 | 33,800 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | 「DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案」に関する研究 | 4 | 42 | 27 | 22,500 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 深尾 彰(山形大学大学院医学系研究科) | 新たな胃がん検診システムに必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 門田 守人(大阪大学大学院 医学系研究科) | 消化器がん個別化医療におけるファンクショナルゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスの臨床応用と治療体制の確立 | 4 | 41, 42 | 23, 37, 51, 64 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 金子 安比古(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所) | 癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究 | 4 | 41 | 7, 25, 27 | 16,800 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 13,121 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器及び診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 2 | 108,485 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がん研究センター研究所) | がん検診に有用な腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 23, 28, 37, 51, 64 | 86,788 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 標準的検診法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究 | 4 | 44 | 7, 9, 28, 51, 64 | 60,380 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 豊(国立がん研究センター中央病院) | 新しい内視鏡診断機器の臨床への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する調査研究 | 4 | 42 | 50, 51, 64 | 47,988 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター) | 大腸内視鏡検査による大腸がん検診の有効性評価 | 4 | 43 | 64 | 47,466 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 北村 俊雄(東京大学医科学研究所) | レトロウイルス技術と高集積がん組織アレイを利用した癌抗原同定とがんの早期診断治療への応用 | 4 | 41 | 4, 6, 12, 37, 42, 51 | 32,545 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | ゲノミクス解析に基づく白血病の新規分類法開発 | 4 | 41 | 27 | 30,631 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 田村 研治(国立がん研究センター中央病院) | トリプルネガティブ乳がんに対する創薬と治療の最適化 | 5 | 53 | 7 | 28,716 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 低線量らせんCTを用いた革新的な肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 17,500 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 後藤田 卓志(国立国際医療研究センター) | ピロリ感染率減少時代における新しい対策型胃がん検診システム構築の検証に必要なプロトコール作成と実現可能性に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 13,401 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 濱島 ちさと(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 内視鏡による新たな胃がん検診システム構築に必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 13,401 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器及び診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 2 | 83,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 山田 哲司(国立がん研究センター研究所) | がん検診に有用な腫瘍マーカーの開発 | 4 | 41 | 23, 28, 37, 51, 64 | 72,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 標準的検診法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究 | 4 | 44 | 7, 9, 28, 51, 64 | 43,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 豊(国立がん研究センター中央病院) | 新しい内視鏡診断機器の臨床への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する調査研究 | 4 | 42 | 50, 51, 64 | 39,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | ゲノミクス解析に基づく白血病の新規分類法開発 | 4 | 41 | 27 | 31,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 北村 俊雄(東京大学医科学研究所) | レトロウイルス技術と高集積がん組織アレイを利用した癌抗原同定とがんの早期診断治療への応用 | 4 | 41 | 4, 6, 12, 37, 42, 51 | 29,000 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|-----------------------|---------------------------------|--|-------|--------|------------------|-----------|
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 工藤 進英(昭和大阪大学横浜市北部病院 消化器センター) | 消化器内視鏡検査等による新しいがん検診の開発と有効性評価に関する研究 | 4 | 41, 42 | 2 | 26,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 田村 研治(国立がん研究センター中央病院) | トリプルネガティブ乳がんに対する創薬と治療の最適化 | 5 | 53 | 7 | 25,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 前田 浩(崇城大学DDS研究所) | 蛍光内視鏡をめざした高分子型分子プローブの創製 | 4 | 41 | 51 | 19,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 低線量らせんCTを用いた革新的な肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 14,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 後藤田 卓志(国立国際医療研究センター) | ピロリ感染率減少時代における新しい対策型胃がん検診システム構築の検証に必要なプロトコール作成と実現可能性に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 11,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 濱島 ちさと(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 内視鏡による新たな胃がん検診システム構築に必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 10,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 森山 紀之(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器及び診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 2 | 78,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(自治医科大学医学部) | ゲノミクス解析に基づく白血病の新規分類法開発 | 4 | 41 | 27 | 35,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 濱島 ちさと(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 内視鏡による新たな胃がん検診システム構築に必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 33,800 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | がん死亡率減少に資するがん検診精度管理に関する研究 | 6 | | 28, 51, 7, 9, 64 | 32,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 渡邊 俊樹(東京大学大学院 新領域創成科学研究科) | miRNAを用いたATLがん幹細胞特異的新規治療法の開発 | 1 | | 27 | 26,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 工藤 進英(昭和大阪大学横浜市北部病院 消化器センター) | 消化器内視鏡検査等による新しいがん検診の開発と有効性評価に関する研究 | 4 | 41 | 2 | 25,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 田村 研治(国立がん研究センター中央病院) | トリプルネガティブ乳がんに対する創薬と治療の最適化 | 5 | 53 | 7 | 24,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 前田 浩(崇城大学DDS研究所) | 蛍光内視鏡をめざした高分子型分子プローブの創製 | 4 | 41 | 51 | 14,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 後藤田 卓志(東京医科大学 消化器内科) | ピロリ感染率減少時代における新しい対策型胃がん検診システム構築の検証に必要なプロトコール作成と実現可能性に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 11,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 低線量らせんCTを用いた革新的な肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 10,500 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 佐竹 光夫(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 診断用機器及び診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究 | 4 | 42 | 2 | 73,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 斎藤 博(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | がん死亡率減少に資するがん検診精度管理に関する研究 | 6 | | 28, 51, 7, 9, 64 | 27,800 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 間野 博行(東京大学) | ゲノミクス解析に基づく造血器悪性腫瘍の分子診断法開発 | 4 | | 67 | 24,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 渡邊 俊樹(東京大学大学院 新領域創成科学研究科) | miRNAを用いたATLがん幹細胞特異的新規治療法の開発 | 1 | | 27 | 23,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 工藤 進英(昭和大阪大学横浜市北部病院 消化器センター) | 消化器内視鏡検査等による新しいがん検診の開発と有効性評価に関する研究 | 4 | 41 | 2 | 21,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 濱島 ちさと(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 内視鏡による新たな胃がん検診システム構築に必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究 | 4 | 43 | 51 | 20,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 前田 浩(崇城大学DDS研究所) | 蛍光内視鏡をめざした高分子型分子プローブの創製 | 4 | 41 | 51 | 9,500 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野4 革新的な診断技術の開発に関する研究 | 中山 富雄(大阪府立成人病センター) | 低線量らせんCTを用いた革新的な肺がん検診手法の確立に関する研究 | 4 | 43 | 28 | 8,400 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 野村 和弘(国立がんセンター中央病院) | がん治療のための革新的新技術の開発研究 | 5 | 52, 54 | 23, 42, 37 | 100,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 江角 浩安(国立がんセンター研究所支所) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 64 | 73,490 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 7, 28, 51 | 73,490 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小戩 健一郎(久留米大学高次脳疾患研究所) | 独自開発した多因子による癌特異的増殖制御型アデノウイルスベクターによる革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 5 | 53 | 2 | 20,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | がん特異的細胞傷害性T細胞活性化に基づく免疫治療の構築 | 5 | 53 | 9, 51, 61 | 16,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 野村 和弘(国立がんセンター中央病院) | がん治療のための革新的新技術の開発研究 | 5 | 52, 54 | 23, 42, 37 | 144,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 江角 浩安(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 64 | 84,532 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 7, 28, 51 | 79,532 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|----------------------|------------------------------|---|-------|--------|--------------------|-----------|
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | がん特異的細胞傷害性T細胞活性化に基づく免疫治療の構築 | 5 | 53 | 9, 51, 61 | 21,700 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小賤 健一郎(久留米大学高次脳疾患研究所) | 独自開発した多因子による癌特異的増殖制御型アデノウイルスベクターによる革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 5 | 53 | 2 | 20,000 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 野村 和弘(東京労災病院) | がん治療のための革新的新技術の開発研究 | 5 | 52, 54 | 23, 42, 37 | 144,000 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 江角 浩安(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 64 | 76,458 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 7, 28, 51 | 73,596 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小賤 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学総合研究科) | 独自開発した多因子による癌特異的増殖制御型アデノウイルスベクターによる革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 5 | 53 | 2 | 24,000 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | がん特異的細胞傷害性T細胞活性化に基づく免疫治療の構築 | 5 | 53 | 9, 51, 61 | 16,500 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究 | 5 | 52, 54 | 28, 37, 42, 51, 64 | 143,270 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がんセンター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 7, 28, 51 | 77,350 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 松村 保広(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 76,171 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小賤 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学総合研究科) | 増殖型ベクターと幹細胞のオリジナル技術による革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 5 | 53 | 2 | 23,000 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小林 寿光(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 早期胃がん内視鏡切除用磁気アンカー機器装置の臨床標準化装置の開発に関する研究 | 5 | 51 | 51 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤原 俊義(岡山大学医学部・歯学部附属病院) | 放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討 | 5 | 53 | 12, 28 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | 特異的細胞性免疫の活性化による新規がん治療の開発研究 | 5 | 53 | 27, 28, 37 | 15,300 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究 | 5 | 52, 54 | 28, 37, 42, 51, 64 | 120,900 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がんセンター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 7, 28, 51 | 80,080 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 松村 保広(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 67,704 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤原 俊義(岡山大学医学部・歯学部附属病院) | 放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討 | 5 | 53 | 12, 28 | 26,400 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小賤 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学総合研究科) | 増殖型ベクターと幹細胞のオリジナル技術による革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 5 | 53 | 2 | 25,200 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小林 寿光(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 早期胃がん内視鏡切除用磁気アンカー機器装置の臨床標準化装置の開発に関する研究 | 5 | 51 | 51 | 18,744 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | 特異的細胞性免疫の活性化による新規がん治療の開発研究 | 5 | 53 | 27, 28, 37 | 17,600 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西條 長宏(近畿大学 医学部内科学) | がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究 | 5 | 52, 54 | 28, 37, 42, 51, 64 | 97,500 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がんセンター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 7, 28, 51 | 68,250 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 松村 保広(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 54,600 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西山 正彦(埼玉医科大学 医学部) | 高齢者ががん治療アルゴリズム開発のためのガイドポスト・データベースの構築と必須情報及びその推定モデルの策定 | 5 | 57 | 51, 64 | 45,735 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小賤 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学総合研究科) | 増殖型ベクターと幹細胞のオリジナル技術による革新的な癌遺伝子治療法の開発 | 5 | 53 | 2 | 24,750 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤原 俊義(岡山大学病院) | 放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討 | 5 | 53 | 12, 28 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | 特異的細胞性免疫の活性化による新規がん治療の開発研究 | 5 | 53 | 27, 28, 37 | 14,000 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 木下 平(国立がん研究センター東病院) | がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究 | 5 | 52, 54 | 2 | 102,103 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がん研究センター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 23 | 71,472 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 松村 保広(国立がん研究センター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 49,198 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西山 正彦(埼玉医科大学 医学部) | 高齢者ががん治療アルゴリズム開発のためのガイドポスト・データベースの構築と必須情報及びその推定モデルの策定 | 5 | 57 | 51, 64 | 42,681 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|----------------------|------------------------------|---|-------|--------|-----------|-----------|
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | がん特異的細胞性免疫の活性化を基盤とする新たな治療の開発 | 5 | 53 | 66 | 19,144 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小戩 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学部総合研究科) | 独自m-CRAベクターによる癌幹細胞の同定・標的治療技術の開発と革新的な遺伝子治療の実現 | 5 | 53 | 4 | 19,144 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤原 俊義(岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | 光感受性ROS産生蛍光タンパク質を発現する遺伝子改変アデノウイルス製剤を用いた新たな癌の光線力学療法システムの開発 | 5 | 53 | 9, 28, 49 | 18,761 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 高橋 隆(名古屋大学大学院 医学系研究科) | 肺がんの浸潤・転移を抑制可能な分子標的の同定に基づく革新的テーラード治療法の開発 | 5 | 53 | 28 | 17,868 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 森 正樹(大阪大学 医学系研究科) | リプログラミング技術による消化器癌の新しい診断・治療 | 5 | 53 | 15 | 17,868 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 木下 平(国立がん研究センター東病院) | がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究 | 5 | 52, 54 | 2 | 73,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がん研究センター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 23 | 60,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 松村 保広(国立がん研究センター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 43,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 西山 正彦(埼玉医科大学 医学部) | 高齢者ががん治療アルゴリズム開発のためのガイドポスト・データベースの構築と必須情報及びその推定モデルの策定 | 5 | 57 | 51, 64 | 37,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 前佛 均(東京大学医科学研究所) | 遺伝子多型解析による乳癌ホルモン療法の有効性及び副作用予測診断システムの確立 | 5 | 54 | 7 | 22,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 高橋 隆(名古屋大学大学院 医学系研究科) | 肺がんの浸潤・転移を抑制可能な分子標的の同定に基づく革新的テーラード治療法の開発 | 5 | 53 | 28 | 20,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤原 俊義(岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | 光感受性ROS産生蛍光タンパク質を発現する遺伝子改変アデノウイルス製剤を用いた新たな癌の光線力学療法システムの開発 | 5 | 53 | 9, 28, 49 | 19,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤田 貢(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | がん特異的細胞性免疫の活性化を基盤とする新たな治療の開発 | 5 | 53 | 66 | 19,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 中森 正二(国立病院機構大阪医療センター) | リプログラミング技術による消化器癌の新しい診断・治療 | 5 | 53 | 15 | 18,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小戩 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学部総合研究科) | 独自m-CRAベクターによる癌幹細胞の同定・標的治療技術の開発と革新的な遺伝子治療の実現 | 5 | 53 | 4 | 16,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 石田 高司(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | がん・精巢抗原を標的としたATLに対する新規免疫療法の開発 | 5 | 53 | 52 | 14,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 大江 裕一郎(国立がん研究センター東病院) | がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究 | 5 | 52 | 2 | 60,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がん研究センター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | 54 | 23 | 57,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 松村 保広(国立がん研究センター東病院臨床開発センター) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 35,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 三木 義男(東京医科歯科大学 難治疾患研究所) | 難治性乳癌の克服に向けた画期的治療法の開発基盤推進研究 | 1 | | 7 | 25,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 石川 義弘(横浜市立大学大学院 医学研究科) | 悪性中皮腫に対する単剤多機能抗がん治療の開発 | 5 | | 28 | 25,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 関戸 好孝(愛知県がんセンター研究所) | 悪性中皮腫の増殖、分化に係る細胞特性に基づく新規治療法の開発 | 1 | | 28 | 23,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 高橋 隆(名古屋大学大学院 医学系研究科) | 肺がんの浸潤・転移を抑制可能な分子標的の同定に基づく革新的テーラード治療法の開発 | 5 | 53 | 28 | 20,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤原 俊義(岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | 光感受性ROS産生蛍光タンパク質を発現する遺伝子改変アデノウイルス製剤を用いた新たな癌の光線力学療法システムの開発 | 5 | 53 | 9, 28, 49 | 19,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 前佛 均(札幌医科大学医学部) | 遺伝子多型解析による乳癌ホルモン療法の有効性及び副作用予測診断システムの確立 | 5 | 54 | 7 | 18,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 藤田 貢(愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部) | がん特異的細胞性免疫の活性化を基盤とする新たな治療の開発 | 5 | 53 | 66 | 16,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小戩 健一郎(鹿児島大学大学院 歯学部総合研究科) | 独自m-CRAベクターによる癌幹細胞の同定・標的治療技術の開発と革新的な遺伝子治療の実現 | 5 | 53 | 4 | 15,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 石田 高司(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | がん・精巢抗原を標的としたATLに対する新規免疫療法の開発 | 5 | 53 | 52 | 14,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 大江 裕一郎(国立がん研究センター東病院) | がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究 | 5 | 52 | 2 | 46,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 安永 正浩(国立がんセンター東病院) | 新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究 | 5 | 53 | 6, 28 | 31,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 田村 友秀(国立がん研究センター中央病院) | 新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 | 5 | | 2 | 23,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 三木 義男(東京医科歯科大学 難治疾患研究所) | 難治性乳癌の克服に向けた画期的治療法の開発基盤推進研究 | 1 | | 7 | 21,000 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|----------------------|----------------------------|--|-------|-------|-------------------|-----------|
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 石川 義弘(横浜国立大学大学院 医学研究科) | 悪性中皮腫に対する単剤多機能抗がん治療の開発 | 5 | | 28 | 21,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 関戸 好孝(愛知県がんセンター研究所) | 悪性中皮腫の増殖、分化に係る細胞特性に基づく新規治療法の開発 | 1 | | 28 | 17,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 高橋 隆(名古屋大学大学院 医学系研究科) | 肺がんの浸潤・転移を抑制可能な分子標的の同定に基づく革新的テラペイト治療法の開発 | 5 | 53 | 28 | 16,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 前佛 均(札幌医科大学医学部) | 遺伝子多型解析による乳癌ホルモン療法の有効性及び副作用予測診断システムの確立 | 5 | 54 | 7 | 14,700 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 小賤 健一郎(鹿児島大学大学院 医学部総合研究科) | 独自m-CRAベクターによる癌幹細胞の同定・標的治療技術の開発と革新的な遺伝子治療の実現 | 5 | 53 | 4 | 13,200 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 葛島 清隆(愛知県がんセンター研究所) | がん特異的細胞性免疫の活性化を基盤とする新たな治療の開発 | 5 | 53 | 66 | 12,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野5 革新的な治療法の開発に関する研究 | 石田 高司(名古屋国立大学大学院 医学研究科) | がん・精巣抗原を標的としたATLに対する新規免疫療法の開発 | 5 | 53 | 52 | 11,700 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 吉田 茂昭(国立がんセンター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 5 | 52 | 7, 12, 21, 61, 64 | 73,490 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(国立がんセンター研究所支所) | QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発研究 | 6 | 61 | 7 | 39,252 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん生存(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 6 | 65 | 2 | 34,800 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がん医療経済と患者負担最小化に関する研究 | 6 | 64 | 28 | 14,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 谷水 正人(国立病院機構四国がんセンター) | 患者の視点を重視したネットワークによる在宅がん患者支援システムの開発 | 6 | 65 | 2 | 13,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 吉田 茂昭(国立がんセンター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 5 | 52 | 7, 12, 21, 61, 64 | 84,532 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発研究 | 6 | 61 | 7 | 44,252 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん生存(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 6 | 65 | 2 | 34,800 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がん医療経済と患者負担最小化に関する研究 | 6 | 64 | 28 | 14,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 谷水 正人(国立病院機構四国がんセンター) | 患者の視点を重視したネットワークによる在宅がん患者支援システムの開発 | 6 | 65 | 2 | 11,700 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 吉田 茂昭(国立がんセンター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 5 | 52 | 7, 12, 21, 61, 64 | 72,085 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発研究 | 6 | 61 | 7 | 37,980 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん生存(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 6 | 65 | 2 | 24,000 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 谷水 正人(国立病院機構四国がんセンター) | 患者の視点を重視したネットワークによる在宅がん患者支援システムの開発 | 6 | 65 | 2 | 10,725 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がん医療経済と患者負担最小化に関する研究 | 6 | 64 | 28 | 9,800 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がんセンター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 5 | 52 | 7, 9, 12, 61 | 120,662 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究 | 6 | 61 | 7 | 44,200 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん生存者(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 6 | 65 | 2 | 25,050 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 16,000 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がんセンター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 5 | 52 | 7, 9, 12, 61 | 126,412 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究 | 6 | 61 | 7 | 48,360 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん生存者(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 6 | 65 | 2 | 26,400 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 19,360 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がんセンター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 5 | 52 | 7, 9, 12, 61 | 97,500 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 的場 元弘(国立がんセンター中央病院) | がん性疼痛などの緩和のための病態生理に基づいた新たな治療法の開発 | 6 | 61 | 2 | 83,200 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|--------------------|----------------------------|--|-------|-------|---|-----------|
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山田 芳嗣(東京大学 医学部附属病院) | がん性疼痛患者のQOL向上のための橋渡し研究連携拠点の構築 | 6 | 61 | 2 | 52,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | QOLの向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究 | 6 | 61 | 7 | 39,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん生存者(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究 | 6 | 65 | 2 | 22,500 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 20,000 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がん研究センター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 95,722 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 的場 元弘(国立がん研究センター中央病院) | がん性疼痛などの緩和のための病態生理に基づいた新たな治療法の開発 | 6 | 61 | 2 | 85,538 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 上園 保仁(国立がん研究センター研究所) | がん治療の副作用軽減ならびにがん患者のQOL向上のための漢方薬の臨床応用とその作用機構の解明 | 6 | 68 | 2 | 55,102 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 中里 雅光(宮崎大学 医学部内科学講座) | 癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究 | 6 | 61 | 12, 28, 37 | 47,861 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | QOL向上のための、主に精神、心理、社会、スピリチュアルな側面からの患者・家族支援プログラムに関する研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 47,861 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山田 芳嗣(東京大学大学院 医学系研究科) | がん性疼痛患者のQOL向上のための橋渡し研究連携拠点の構築 | 6 | 61 | 2 | 38,288 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | 在宅がん患者・家族を支える医療・福祉の連携向上のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 30,631 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 26,802 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 辻 哲也(慶應義塾大学 医学部) | がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 6, 7, 12, 17, 21, 23, 28, 42, 51, 67, 2 | 17,868 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がん研究センター研究所) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 72,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 的場 元弘(国立がん研究センター中央病院) | がん性疼痛などの緩和のための病態生理に基づいた新たな治療法の開発 | 6 | 61 | 2 | 65,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 中里 雅光(宮崎大学 医学部内科学講座) | 癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究 | 6 | 61 | 12, 28, 37 | 42,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | QOL向上のための、主に精神、心理、社会、スピリチュアルな側面からの患者・家族支援プログラムに関する研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 42,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 上園 保仁(国立がん研究センター研究所) | がん治療の副作用軽減ならびにがん患者のQOL向上のための漢方薬の臨床応用とその作用機構の解明 | 6 | 68 | 2 | 34,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山田 芳嗣(東京大学大学院 医学系研究科) | がん性疼痛患者のQOL向上のための橋渡し研究連携拠点の構築 | 6 | 61 | 2 | 30,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | 在宅がん患者・家族を支える医療・福祉の連携向上のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 26,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 23,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 辻 哲也(慶應義塾大学 医学部) | がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 6, 7, 12, 17, 21, 23, 28, 42, 51, 67, 2 | 15,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がん研究センター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 68,063 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 中里 雅光(宮崎大学 医学部内科学講座) | 癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究 | 6 | 61 | 12, 28, 37 | 38,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 上園 保仁(国立がん研究センター研究所) | がん治療の副作用軽減ならびにがん患者のQOL向上のための漢方薬の臨床応用とその作用機構の解明 | 6 | 68 | 2 | 31,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | QOL向上のための、主に精神、心理、社会、スピリチュアルな側面からの患者・家族支援プログラムに関する研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 30,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 濃沼 信夫(東北大学大学院 医学系研究科) | がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 23,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | 在宅がん患者・家族を支える医療・福祉の連携向上のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 22,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 辻 哲也(慶應義塾大学 医学部) | がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 6, 7, 12, 17, 21, 23, 28, 42, 51, 67, 105 | 15,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 別所 和久(京都大学 医学研究科) | 医科歯科連携のチーム医療におけるオーラルケア法の開発 | 6 | | 2 | 10,994 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 清水 千佳子(国立がん研究センター中央病院) | 乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドライン策定の開発 | 6 | | 7 | 9,947 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 江角 浩安(国立がん研究センター東病院) | QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 54,900 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|---------------------------|-------------------------------|--|-------|-------|------------------|-----------|
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 中里 雅光(宮崎大学 医学部内科学講座) | 癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究 | 6 | 61 | 12, 28, 37 | 30,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 内富 庸介(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科) | QOL向上のための、主に精神、心理、社会、スピリチュアルな側面からの患者・家族支援プログラムに関する研究 | 6 | 61 | 21, 43 | 27,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 上園 保仁(国立がん研究センター研究所) | がん治療の副作用軽減ならびにがん患者のQOL向上のための漢方薬の臨床応用とその作用機構の解明 | 6 | 68 | 2 | 23,700 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | 在宅がん患者・家族を支える医療・福祉の連携向上のためのシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 19,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 別所 和久(京都大学 医学研究科) | 医科歯科連携のチーム医療におけるオーラルケア法の開発 | 6 | | 2 | 9,200 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野6 がん患者のQOLに関する研究 | 清水 千佳子(国立がん研究センター中央病院) | 乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドライン策定の開発 | 6 | | 7 | 8,300 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | がん予防対策のためのがん罹患・死亡動向の実態把握の研究 | 6 | 62 | 2 | 117,435 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がんセンター中央病院) | 効果的ながん情報提供システムに関する研究 | 6 | 65 | 21 | 77,200 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | その他、がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究 | 6 | 62 | 12 | 24,000 |
| 平成16(2004)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 丸山 英二(神戸大学大学院法学研究科) | 地域がん登録の法的倫理的環境整備に関する研究 | 6 | 67 | 2 | 12,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | がん予防対策のためのがん罹患・死亡動向の実態把握の研究 | 6 | 62 | 2 | 114,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がんセンター中央病院) | 効果的ながん情報提供システムに関する研究 | 6 | 65 | 21 | 83,242 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | その他、がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究 | 6 | 62 | 12 | 20,000 |
| 平成17(2005)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 丸山 英二(神戸大学大学院法学研究科) | 地域がん登録の法的倫理的環境整備に関する研究 | 6 | 67 | 2 | 12,000 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん罹患・死亡動向の実態把握の研究 | 6 | 62 | 32 | 135,200 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がんセンター中央病院) | 効果的ながん情報提供システムに関する研究 | 6 | 65 | 21 | 62,360 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 中田 善規(帝京大学 医療情報システム研究センター) | 情報工学等の連携による国民・患者のリテラシー向上に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 24,750 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 齋藤 英昭(杏林大学 医学部医療管理学) | 社会学・心理学等との連携による国民のリテラシー向上と患者の納得形成に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 23,750 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | その他、がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究 | 6 | 62 | 12 | 10,500 |
| 平成18(2006)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 丸山 英二(神戸大学大学院法学研究科) | 地域がん登録の法的倫理的環境整備に関する研究 | 6 | 67 | 2 | 9,600 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん罹患・死亡動向の実態把握の研究 | 6 | 62 | 32 | 160,687 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がんセンター中央病院) | 患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの構築に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 115,017 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 西本 寛(国立がんセンターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 64 | 37,081 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 高山 智子(国立がんセンターがん対策情報センター) | 患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 28,500 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 黒川 清(特定非営利活動法人 日本医療政策機構) | その他、がんの実態把握とがん情報の発信等に関する特に重要な研究 | 6 | 65 | 2 | 24,800 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 中田 善規(帝京大学 医療情報システム研究センター) | 情報工学等の連携による国民・患者のリテラシー向上に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 齋藤 英昭(杏林大学 医学部医療管理学) | 社会学・心理学等との連携による国民のリテラシー向上と患者の納得形成に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 17,750 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん罹患・死亡動向の実態把握の研究 | 6 | 62 | 32 | 138,939 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がんセンター中央病院) | 患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの構築に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 120,900 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 西本 寛(国立がんセンターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 64 | 33,852 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 黒川 清(特定非営利活動法人 日本医療政策機構) | その他、がんの実態把握とがん情報の発信等に関する特に重要な研究 | 6 | 65 | 2 | 29,148 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|-------------------------|---------------------------------|---|-------|-------|--------------------------|-----------|
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 高山 智子(国立がんセンターがん対策情報センター) | 患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 26,400 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 25,200 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 田中 英夫(愛知県がんセンター研究所) | 日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質向上と標準化を目指した調査研究 | 6 | 62 | 7, 9, 11, 23, 28, 51, 64 | 24,015 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 中田 善規(帝京大学 医療情報システム研究センター) | 情報工学等の連携による国民・患者のリテラシー向上に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 17,640 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 齋藤 英昭(杏林大学 医学部医療管理学) | 社会学・心理学等との連携による国民のリテラシー向上と患者の納得形成に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 16,296 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 148,699 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 若尾 文彦(国立がんセンター中央病院) | 患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの構築に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 107,085 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 渡邊 清高(国立がんセンターがん対策情報センター) | 患者・家族・国民の視点に立った自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 48,750 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 井上 真奈美(国立がんセンターがん予防・検診研究センター) | 日中間におけるがんの予防・検診・診断・治療の向上のための調査研究 | 6 | 62 | 9, 12, 23 | 31,850 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 西本 寛(国立がんセンターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 64 | 29,550 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 黒川 清(特定非営利活動法人 日本医療政策機構) | その他、がんの実態把握とがん情報の発信等に関する特に重要な研究 | 6 | 65 | 2 | 22,400 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 高山 智子(国立がんセンターがん対策情報センター) | 患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 田中 英夫(愛知県がんセンター研究所) | 日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質向上と標準化を目指した調査研究 | 6 | 62 | 7, 9, 11, 23, 28, 51, 64 | 17,500 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 祖父江 友孝(国立がん研究センターがん対策情報センター) | がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 103,060 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 若尾 文彦(国立がん研究センター中央病院) | 国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 95,722 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 渡邊 清高(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 患者・家族・国民の視点に立った自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 47,171 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 西本 寛(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 28,716 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 井上 真奈美(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 日中間におけるがんの予防・検診・診断・治療の向上のための調査研究 | 6 | 62 | 9, 12, 23 | 23,930 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 19,144 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 中山 健夫(京都大学大学院 医学研究科健康情報学) | 国民のがん情報不足感の解消に向けた「患者視点情報」のデータベース構築とその活用・影響に関する研究 | 6 | 65 | 7, 42, 64 | 19,144 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 田中 英夫(愛知県がんセンター研究所) | 日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質向上と標準化を目指した調査研究 | 6 | 62 | 7, 9, 11, 23, 28, 51, 64 | 16,170 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 祖父江 友孝(国立がん研究センターがん対策情報センター) | がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 92,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 若尾 文彦(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 72,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 渡邊 清高(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 患者・家族・国民の視点に立った自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 35,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 田中 英夫(愛知県がんセンター研究所) | アジア諸国でのがん予防、がん検診、がん治療向上のための調査研究 | 6 | 62 | 2 | 27,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 西本 寛(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 23,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 中村 和正(九州大学病院) | 高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 23,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 井上 真奈美(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター) | 日中間におけるがんの予防・検診・診断・治療の向上のための調査研究 | 6 | 62 | 9, 12, 23 | 19,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 中山 健夫(京都大学大学院 医学研究科健康情報学) | 国民のがん情報不足感の解消に向けた「患者視点情報」のデータベース構築とその活用・影響に関する研究 | 6 | 65 | 7, 42, 64 | 17,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 手島 昭樹(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 16,500 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する | 原 純一(大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科) | がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 10,500 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|---------------------------|---------------------------------|---|-------|-------|------------------|-----------|
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 6 | | 2 | 105,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 65,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 西本 寛(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 23,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 田中 英夫(愛知県がんセンター研究所) | アジア諸国でのがん予防、がん検診、がん治療向上のための調査研究 | 6 | 62 | 2 | 23,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 中山 健夫(京都大学大学院 医学研究科健康情報学) | 国民のがん情報不足感の解消に向けた「患者視点情報」のデータベース構築とその活用・影響に関する研究 | 6 | 65 | 7, 42, 64 | 17,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 沼崎 穂高(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 14,500 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 中村 和正(九州大学病院) | 高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 14,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 原 純一(大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科) | がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 10,500 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 祖父江 友孝(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 6 | | 2 | 99,800 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 若尾 文彦(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 60,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 西本 寛(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 21,300 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 近藤 丘(東北大学加齢医学研究所) | NCDを用いた胸腔鏡による肺癌切除手術の実態調査 | 5 | | 28 | 20,500 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 田中 英夫(愛知県がんセンター研究所) | アジア諸国でのがん予防、がん検診、がん治療向上のための調査研究 | 6 | 62 | 2 | 19,500 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 中山 健夫(京都大学大学院 医学研究科健康情報学) | 国民のがん情報不足感の解消に向けた「患者視点情報」のデータベース構築とその活用・影響に関する研究 | 6 | 65 | 7, 42, 64 | 13,700 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 中村 和正(九州大学病院) | 高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 11,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 沼崎 穂高(大阪大学大学院 医学系研究科) | がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用 | 6 | 62 | 7, 9, 12, 28, 42 | 11,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 分野7 がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究 | 原 純一(大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科) | がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 8,900 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 指定型(戦略型) | 財団法人日本対がん協会(財団法人 日本対がん協会) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験及び緩和ケアプログラムによる地域介入研究を円滑に実施するための支援 | 4 | 43 | 7 | 166,370 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 指定型(戦略型) | 財団法人日本対がん協会(財団法人 日本対がん協会) | 1)乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 2)緩和ケアプログラムによる地域介入研究を円滑に実施するための支援 | 4 | 43 | 7 | 176,697 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 指定型(戦略型) | 財団法人日本対がん協会(財団法人 日本対がん協会) | 1)乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 2)緩和ケアプログラムによる地域介入研究を円滑に実施するための支援 | 4 | 43 | 7 | 151,724 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 指定型(戦略型) | 大内 憲明(東北大学大学院 医学系研究科) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 | 4 | 43 | 7 | 170,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型(戦略型) | 大内 憲明(東北大学大学院 医学系研究科) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 | 4 | 43 | 7 | 120,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 指定型(戦略型) | 大内 憲明(東北大学大学院 医学系研究科) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 | 4 | | 7 | 148,600 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 大内 憲明(東北大学大学院 医学系研究科) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 | 4 | 43 | 7 | 189,000 |
| 平成20(2008)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 緩和ケアプログラムによる地域介入研究 | 6 | 65 | 2 | 144,630 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 大内 憲明(東北大学大学院 医学系研究科) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較研究 | 4 | 43 | 7 | 190,800 |
| 平成21(2009)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 緩和ケアプログラムによる地域介入研究 | 6 | 65 | 2 | 132,503 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 大内 憲明(東北大学大学院 医学系研究科) | 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 | 4 | 43 | 7 | 201,720 |
| 平成22(2010)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 緩和ケアプログラムによる地域介入研究 | 6 | 65 | 2 | 146,580 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 緩和ケアプログラムによる地域介入研究 | 6 | 65 | 2 | 32,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 植田 幸嗣(独立行政法人理化学研究所 ゲノム医学研究センター) | 肺癌糖鎖標的マーカーの実用化に向けた定量的糖鎖構造変動解析システムの構築 | 7 | 71 | 28 | 5,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 真田 昌(東京大学医学部附属病院) | 骨髄異形成症候群におけるエピゲノム修飾分子異常の解明 | 1 | 12 | 67 | 5,000 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|--------|-------|---------------------------------|--|-------|-------|------------|-----------|
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 中村 貴史(東京大学医学研究所) | マイクロRNAを指標にして癌を標的破壊する純和製抗癌ウイルス製剤の開発とその臨床応用に関する研究 | 5 | 53 | 2 | 5,000 |
| 平成23(2011)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 馬原 淳(国立循環器病研究センター) | リガンド固定化マイクロデバイスによる循環がん細胞診断デバイスの開発 | 4 | 41 | 2 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 緩和ケアプログラムによる地域介入研究 | 6 | 65 | 2 | 32,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 橋本 英樹(東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学・経済学) | がん対策を評価する枠組みと指標の策定に関する研究 | 6 | | 2 | 7,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 堀田 知光(国立がん研究センター) | がん研究の今後のあり方に関する研究 | 6 | | 2 | 5,200 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 植田 幸嗣(独立行政法人理化学研究所 ゲノム医学研究センター) | 肺癌糖鎖標的マーカーの実用化に向けた定量的糖鎖構造変動解析システムの構築 | 1 | 71 | 28 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 真田 昌(東京大学医学部附属病院) | 骨髄異形成症候群におけるエピゲノム修飾子異常の解明 | 1 | 12 | 67 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 中村 貴史(鳥取大学 医学系研究科) | マイクロRNAを指標にして癌を標的破壊する純和製抗癌ウイルス製剤の開発とその臨床応用に関する研究 | 5 | 53 | 2 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 馬原 淳(国立循環器病研究センター) | リガンド固定化マイクロデバイスによる循環がん細胞診断デバイスの開発 | 4 | 41 | 2 | 5,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 柴田 龍弘(国立がん研究センター研究所) | 国際協調に基づく日本人難治がんゲノムデータベースの構築(国際がんゲノムコンソーシアム研究) | 2 | | 2 | 150,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 植田 幸嗣(独立行政法人理化学研究所 ゲノム医学研究センター) | 肺癌糖鎖標的マーカーの実用化に向けた定量的糖鎖構造変動解析システムの構築 | 1 | 71 | 28 | 4,800 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 馬原 淳(国立循環器病研究センター) | リガンド固定化マイクロデバイスによる循環がん細胞診断デバイスの開発 | 4 | 41 | 2 | 4,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 指定型 | 中村 貴史(鳥取大学 医学系研究科) | マイクロRNAを指標にして癌を標的破壊する純和製抗癌ウイルス製剤の開発とその臨床応用に関する研究 | 5 | 53 | 2 | 3,700 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 橋本 成世(公益財団法人がん研究会有明病院) | 呼吸移動を伴う胸部病変に対する先進的強度変調回転照射に関する研究 | 5 | | 28 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 井上 純(東京医科歯科大学 難治疾患研究所) | オートファジー活性を指標とした癌個別化医療の分子基盤に関する研究 | 1 | | 2 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 久家 貴寿(独立行政法人医薬基盤研究所) | キナーゼ活性化レベル測定SRM法による抗EGFR抗体薬効果予測診断法の開発 | 4 | | 64 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 寺倉 精太郎(名古屋大学 医学部附属病院) | ヒト化抗CD20抗体を細胞外ドメインとした新規キメラ抗原レセプター(CAR) 遺伝子導入T細胞の作成と評価 | 1 | | 2 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 石川 俊平(東京大学大学院 医学系研究科) | 大量構造計算とゲノムバイオマーカーを取り入れたin vivoスクリーニングによる生理的肝代謝系で効果の高いβカテニン阻害剤の開発 | 1 | | 2 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 仲田 興平(九州大学病院) | 膵臓星細胞活性化におけるオートファジーの役割 | 1 | | 37 | 5,000 |
| 平成24(2012)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 本山 敬一(熊本大学大学院 生命科学部) | 腫瘍細胞選択的新規抗がん剤としての薬酸修飾メチル-β-シクロデキストリンの細胞死誘導機構の解明(24100701) | 1 | | 36 | 5,000 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 白石 航也(国立がん研究センター研究所) | 難治性肺がんに対する治療応答群及び術後再発危険度群捕捉のための新規バイオマーカーの同定 | 5 | | 28 | 6,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 高田 龍平(東京大学医学部附属病院) | 有機溶剤含有物質が胆管がん発症をもたらす分子機構の解明 | 2 | | 23 | 5,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 石沢 武彰(東京大学医学部附属病院) | 光音響イメージングを利用した肝胆膵癌診断法の開発 | 4 | | 14, 23, 37 | 5,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 向 洋平(医薬基盤研究所) | 抗腫瘍サイトカインTNFの医薬品化を目指した活性増強型リジン欠損TNFに対する部位特異的バイオコンジュゲーションの最適化 | 1 | | 2 | 5,200 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 伊藤 ゆり(大阪府立病院機構大阪府立成人病センター) | 革新的な統計手法を用いたがん患者の生存時間分析とその情報還元に関する研究 | 6 | | 2 | 4,400 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 石川 俊平(東京大学大学院 医学系研究科) | 大量構造計算とゲノムバイオマーカーを取り入れたin vivoスクリーニングによる生理的肝代謝系で効果の高いβカテニン阻害剤の開発 | 1 | | 2 | 4,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 本山 敬一(熊本大学大学院 生命科学部) | 腫瘍細胞選択的新規抗がん剤としての薬酸修飾メチル-β-シクロデキストリンの細胞死誘導機構の解明(24100701) | 1 | | 36 | 4,100 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 橋本 成世(公益財団法人がん研究会有明病院) | 呼吸移動を伴う胸部病変に対する先進的強度変調回転照射に関する研究 | 5 | | 28 | 3,900 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 井上 純(東京医科歯科大学 難治疾患研究所) | オートファジー活性を指標とした癌個別化医療の分子基盤に関する研究 | 1 | | 2 | 3,900 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 久家 貴寿(独立行政法人医薬基盤研究所) | キナーゼ活性化レベル測定SRM法による抗EGFR抗体薬効果予測診断法の開発 | 4 | | 64 | 3,900 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 仲田 興平(九州大学病院) | 膵臓星細胞活性化におけるオートファジーの役割 | 1 | | 37 | 3,600 |
| 平成25(2013)年度 | 狭義3次がん | 若手育成型 | 寺倉 精太郎(名古屋大学 医学部附属病院) | ヒト化抗CD20抗体を細胞外ドメインとした新規キメラ抗原レセプター(CAR) 遺伝子導入T細胞の作成と評価 | 1 | | 2 | 3,500 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|---------------------------------|---|-------|-------|---------------------------|-----------|
| 平成16(2004)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 池田 恆(国立がんセンター中央病院) | 地域がん診療拠点病院の機能向上に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 58,475 |
| 平成16(2004)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 大江 裕一郎(国立がんセンター中央病院) | 効果的かつ効率的ながん専門医の育成方法に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 49,358 |
| 平成16(2004)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | がん臨床研究の戦略的推進及び効率的均てん化のための研究 | 5 | 57 | 2 | 45,436 |
| 平成16(2004)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん患者の心のケア及び医療相談等のあり方に関する研究 | 6 | 65 | 23 | 34,000 |
| 平成17(2005)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 池田 恆(国立がんセンター中央病院) | 地域がん診療拠点病院の機能向上に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 49,528 |
| 平成17(2005)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 大江 裕一郎(国立がんセンター中央病院) | 効果的かつ効率的ながん専門医の育成方法に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 39,040 |
| 平成17(2005)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 西條 長宏(国立がんセンター東病院) | がん臨床研究の戦略的推進及び効率的均てん化のための研究 | 5 | 57 | 2 | 35,436 |
| 平成17(2005)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん患者の心のケア及び医療相談等のあり方に関する研究 | 6 | 65 | 23 | 28,600 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 池田 恆(国立がんセンター中央病院) | 地域がん診療拠点病院の機能向上に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 56,424 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | がん患者の心のケア及び医療相談等のあり方に関する研究 | 6 | 65 | 23 | 30,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 大江 裕一郎(国立がんセンター中央病院) | 効果的かつ効率的ながん専門医の育成方法に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 28,900 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 原 めぐみ(佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野) | がん予防に資する未成年等における包括的たばこ対策に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 21,760 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 江口 研二(東海大学 医学部内科学系) | 在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 19,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 秋月 伸哉(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 地域に根ざしたがん医療システムの展開に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 19,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 上 昌広(東京大学医学研究所) | がん臨床研究に不可欠な症例登録を推進するための患者動態に関する研究 | 6 | 62 | 27, 52 | 19,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 竜 崇正(千葉県がんセンター) | 症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステム開発とコストに関する研究 | 6 | 62 | 2 | 19,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 澤 智博(帝京大学 国際教育研究所) | 症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステムの開発とコストに関する研究 | 6 | 62 | 2 | 19,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 武村 真治(国立保健医療科学院 公衆衛生政策部) | がん対策の実施基盤及び推進体制に関する国際比較研究 | 6 | 64 | 7, 9, 11, 64 | 15,670 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究 | 5 | 57 | 7, 23, 28, 51, 64 | 15,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 両宮 隆太(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター) | 相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 13,500 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 中村 清吾(NPO法人日本乳がん情報ネットワーク) | 乳癌診療におけるグローバルスタンダードの導入と質的評価検討に関する研究 | 5 | 57 | 7 | 13,500 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 湯地 晃一郎(東京大学医学研究所附属病院) | 通院治療・在宅医療等、地域に根ざした医療システムの展開に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 13,500 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 下山 直人(国立がんセンター中央病院) | 緩和ケアのガイドライン作成に関するシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 12,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松野 吉宏(国立がんセンターがん対策情報センター) | 遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究 | 4 | 44 | 2 | 12,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡辺 敏(千葉県がんセンター) | 在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 9,500 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 ベンジャミン光一(国立がんセンターがん対策情報センター) | レセプトデータダウンロード方式を利用したがん診療施設の医療水準の評価に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 7,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 津熊 秀明(大阪府立成人病医療センター) | がん患者の医療機関受診に関する動態調査 | 6 | 62 | 7, 23, 28, 51, 64, 66, 67 | 5,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 坪井 栄孝(財団法人日本医療機能評価機構) | 医療機関がん診療機能の客観的・第三者評価標準システムに関する開発研究 | 6 | 64 | 2 | 5,000 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 今井 博久(国立保健医療科学院 疫学部) | 自治体におけるがん対策の現状分析及マネジメントシステムの構築支援に関する研究 | 6 | 69 | 2 | 4,800 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 鎮清(自治医科大学地域医療学センター) | 各自自治体が行っているがん対策関連政策の調査に関する研究ー地域の中小医療機関を中心とした調査研究ー | 6 | 69 | 2 | 4,800 |
| 平成18(2006)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宇田 淳(広島国際大学 医療福祉学部) | がん拠点病院の配置シミュレーションに関する研究 | 6 | 64 | 2 | 2,741 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 藤本 純一郎(国立成育医療センター研究所) | 小児がん治療患者の長期フォローアップとその体制整備に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 121,630 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|---------------------------------|---|-------|-------|------------------------------|-----------|
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | WEB版がんとろず相談システムの構築と活用に関する研究 | 6 | 65 | 7, 9, 23, 28, 42, 51, 64, 66 | 27,600 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 林 謙治(国立保健医療科学院) | たばこ対策による健康増進策の総合的な実施の支援かつ推進に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 26,028 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 加藤 抱一(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 25,600 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小松 恒彦(帝京大学 医学部第三内科) | がん医療における医療と介護の連携のあり方に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 25,600 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 片井 均(国立がんセンター中央病院) | がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 25,600 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がんセンターがん対策情報センター) | 生活習慣や支持療法等が乳がん患者のQOLに与える影響を調べる多目的コホート研究 | 6 | 68 | 7 | 24,100 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 大野 ゆう子(大阪大学大学院 医学系研究科) | タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 21,700 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 下山 直人(国立がんセンター中央病院) | 緩和ケアのガイドライン作成に関するシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 21,300 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 原 めぐみ(佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野) | がん予防に資する未成年等における包括的たばこ対策に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 20,750 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 18,500 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 竜 崇正(千葉県がんセンター) | 症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステム開発とコストに関する研究 | 6 | 62 | 2 | 17,500 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 木澤 義之(筑波大学大学院 人間総合科学研究科) | がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 17,100 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 秋月 伸哉(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 地域に根ざしたがん医療システムの展開に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 17,000 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 保坂 隆(東海大学 医学部) | がん患者や家族が必要とする社会的サポートやグループカウンセリングの有用性に関する研究 | 6 | 65 | 7 | 17,000 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮下 光令(東京大学大学院 医学系研究科) | がん患者のQOLを向上させることを目的とした支持療法のあり方に関する研究 | 6 | 68 | 2 | 16,100 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 上 昌広(東京大学医科学研究所) | がん臨床研究に不可欠な症例登録を推進するための患者動態に関する研究 | 6 | 62 | 27, 52 | 16,000 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 澤 智博(帝京大学 国際教育研究所) | 症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステムの開発とコストに関する研究 | 6 | 62 | 2 | 16,000 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 明智 龍男(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | がん患者に対するリエゾンの介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的な介入の有用性に関する研究 | 6 | 63 | 2 | 15,550 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 中村 清吾(NPO法人日本乳がん情報ネットワーク) | 乳癌診療におけるグローバルスタンダードの導入と質的評価検討に関する研究 | 5 | 57 | 7 | 14,701 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松野 吉宏(北海道大学病院) | 遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究 | 4 | 44 | 2 | 14,250 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究 | 5 | 57 | 7, 23, 28, 51, 64 | 14,250 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 武村 真治(国立保健医療科学院 公衆衛生政策部) | がん対策の実施基盤及び推進体制に関する国際比較研究 | 6 | 64 | 7, 9, 11, 64 | 13,500 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 雨宮 隆太(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター) | 相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 13,050 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 和田 恵美子(大阪府立大学 看護学部) | がん患者の意向による治療方法等の選択を可能とする支援体制整備を目的とした、がん体験をめぐる「患者の語り」のデータベース | 6 | 65 | 7, 42 | 12,100 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 湯地 晃一郎(東京大学医科学研究所附属病院) | 通院治療・在宅医療等、地域に根ざした医療システムの展開に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 11,250 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 津熊 秀明(大阪府立成人病医療センター) | がん患者の医療機関受診に関する動態調査 | 6 | 62 | 7, 23, 28, 51, 64, 66, 67 | 9,700 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 ベンジャミン光一(国立がんセンターがん対策情報センター) | レセプトデータダウンロード方式を利用したがん診療施設の医療水準の評価に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 9,000 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡辺 敏(千葉県がんセンター) | 在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 8,650 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 今井 博久(国立保健医療科学院 疫学部) | 自治体におけるがん対策の現状分析とマネジメントシステムの構築支援に関する研究 | 6 | 69 | 2 | 8,500 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 坪井 栄孝(財団法人日本医療機能評価機構) | 医療機関がん診療機能の客観的・第三者評価標準システムに関する開発研究 | 6 | 64 | 2 | 8,100 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宇田 淳(広島国際大学 医療福祉学部) | がん拠点病院の配置シミュレーションに関する研究 | 6 | 64 | 2 | 7,024 |
| 平成19(2007)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 鎮清(自治医科大学地域医療学センター) | 各自治体が行っているがん対策関連政策の調査に関する研究ー地域の中小医療機関を中心とした調査研究ー | 6 | 69 | 2 | 6,500 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|-----------------------------|---|-------|-------|--------------------------------------|-----------|
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 藤本 純一郎(国立成育医療センター研究所) | 小児がん治療患者の長期フォローアップとその体制整備に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 89,675 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がんセンターがん対策情報センター) | エビデンスに基づいたがん予防知識・行動の普及および普及方法の評価 | 6 | 65 | 2 | 28,984 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 林 謙治(国立保健医療科学院) | たばこ対策による健康増進策の総合的な実施の支援かつ推進に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 28,751 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 真部 淳(聖路加国際病院) | 働き盛りや子育て世代のがん患者やがん経験者、小児がんの患者を持つ家族の支援の在り方についての研究 | 6 | 61 | 27, 6, 32, 67, 4, 66, 23, 25, 45, 49 | 27,238 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 谷水 正人(国立病院機構四国がんセンター) | 全国のがん診療連携拠点病院において活用可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発 | 6 | 64 | 7, 51, 64, 28, 23, 3 | 26,190 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | WEB版がんよろず相談システムの構築と活用に関する研究 | 6 | 65 | 7, 9, 23, 28, 42, 51, 64, 66 | 24,153 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がんセンターがん対策情報センター) | 生活習慣や支持療法等が乳がん患者のQOLに与える影響を調べる多目的のコホート研究 | 6 | 68 | 7 | 22,698 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渋谷 大助((財)宮城県対がん協会 がん検診センター) | 受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究 | 4 | 44 | 7, 9, 11, 64, 2 | 22,698 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 畠 清彦(財団法人癌研究会有明病院) | 外来化学療法における部門の体制および有害事象発生時の対応と安全管理システムに関する研究 | 6 | 64 | 7, 51, 64 | 22,698 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 武村 真治(国立保健医療科学院 公衆衛生政策部) | がん対策の実施基盤及び推進体制に関する国際比較研究 | 6 | 64 | 7, 9, 11, 2 | 22,698 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 片井 均(国立がんセンター中央病院) | がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 22,698 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 大野 ゆう子(大阪大学大学院 医学系研究科) | タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 20,428 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 原 めぐみ(佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野) | がん予防に資する未成年等における包括的たばこ対策に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 20,127 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 曾根 智史(国立保健医療科学院 公衆衛生政策部) | がん対策の医療経済的評価に関する研究 | 6 | 64 | 7, 9, 51, 64 | 20,127 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究 | 5 | 57 | 7, 23, 28, 51, 64 | 20,127 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小松 恒彦(帝京大学 医学部第三内科) | がん医療における医療と介護の連携のあり方に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 19,672 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小川 朝生(国立がんセンター東病院) | がん化学療法後早期から療養の質を向上させる緩和ケア技術の開発に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 19,400 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 下山 直人(国立がんセンター中央病院) | 緩和ケアのガイドライン作成に関するシステム構築に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 17,712 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮下 光令(東京大学大学院 医学系研究科) | がん患者のQOLを向上させることを目的とした支持療法のあり方に関する研究 | 6 | 68 | 2 | 16,102 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 秋月 伸哉(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | 地域に根ざしたがん医療システムの展開に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 16,102 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 木澤 義之(筑波大学大学院 人間総合科学研究科) | がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 16,102 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 江口 研二(帝京大学 医学部内科学講座) | 在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 15,132 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 澤 智博(帝京大学 国際教育研究所) | 症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステムの開発とコストに関する研究 | 6 | 62 | 2 | 15,132 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 中村 清吾(NPO法人日本乳がん情報ネットワーク) | 乳癌診療におけるグローバルスタンダードの導入と質的評価検討に関する研究 | 5 | 57 | 7 | 15,031 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 加藤 抱一(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 14,829 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 竜 崇正(千葉県がんセンター) | 症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステム開発とコストに関する研究 | 6 | 62 | 2 | 14,527 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 上 昌広(東京大学医学研究所) | がん臨床研究に不可欠な症例登録を推進するための患者動態に関する研究 | 6 | 62 | 27, 52 | 14,224 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 明智 龍男(名古屋大学大学院 医学研究科) | がん患者に対するリエゾン的介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的な介入の有用性に関する研究 | 6 | 63 | 2 | 12,862 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 保坂 隆(東海大学 医学部) | がん患者や家族が必要とする社会的サポートやグループカウンセリングの有用性に関する研究 | 6 | 65 | 7 | 12,106 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松野 吉宏(北海道大学病院) | 遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究 | 4 | 44 | 2 | 12,076 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 和田 恵美子(大阪府立大学 看護学部) | がん患者の意向による治療方法等の選択を可能とする支援体制整備を目的とした、がん体験をめぐる「患者の語り」のデータベース | 6 | 65 | 7, 42 | 11,727 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 雨宮 隆太(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター) | 相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 10,214 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|---------------------------------|--|-------|-------|--------------------------------------|-----------|
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 湯地 晃一郎(東京大学医科学研究所附属病院) | 通院治療・在宅医療等、地域に根ざした医療システムの展開に関する研究 | 6 | 64 | 67 | 9,231 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 平井 啓(大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター) | 成人がん患者と小児がん患者の家族に対する望ましい心理社会的支援のあり方に関する研究 | 6 | 63 | 2 | 8,856 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 今井 博久(国立保健医療科学院 疫学部) | 自治体におけるがん対策の現状分析とマネジメントシステムの構築支援に関する研究 | 6 | 69 | 2 | 7,566 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 ベンジャミン光一(国立がんセンターがん対策情報センター) | レセプトデータダウンロード方式を利用したがん診療施設の医療水準の評価に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 7,566 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 津熊 秀明(大阪府立成人病医療センター) | がん患者の医療機関受診に関する動態調査 | 6 | 62 | 7, 23, 28, 51, 64, 66, 67 | 7,566 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡辺 敏(千葉県がんセンター) | 在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 7,566 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 坪井 栄孝(財団法人日本医療機能評価機構) | 医療機関がん診療機能の客観的・第三者評価標準システムに関する開発研究 | 6 | 64 | 2 | 5,674 |
| 平成20(2008)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宇田 淳(広島国際大学 医療福祉学部) | がん拠点病院の配置シミュレーションに関する研究 | 6 | 64 | 2 | 4,828 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 藤本 純一郎(国立成育医療センター研究所) | 小児がん治療患者の長期フォローアップとその体制整備に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 72,503 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 鎌田 正(放射線医学総合研究所) | 粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究 | 5 | 52 | 42 | 25,410 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 高山 智子(国立がんセンターがん対策情報センター) | 相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 25,410 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がんセンターがん対策情報センター) | エビデンスに基づいたがん予防知識・行動の普及および普及方法の評価 | 6 | 65 | 2 | 25,410 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 平田 公一(札幌医科大学 医学部) | がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 25,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小田 一郎(国立がんセンター中央病院) | 早期胃がん内視鏡切除症例のWebを用いたがん登録システムによる前向きがん登録に関する研究 | 6 | 62 | 51 | 24,503 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 後藤 満一(福島県立医科大学) | 消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進 | 5 | 57 | 12, 23, 37, 51, 64 | 23,100 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松村 有子(東京大学医科学研究所) | がん医療に関するメディア報道が国民に与える影響の分析研究及び適正な医療報道のあり方の研究 | 6 | 65 | 2 | 22,688 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山口 建(静岡県立静岡がんセンター) | WEB版がんよろず相談システムの構築と活用に関する研究 | 6 | 65 | 7, 9, 23, 28, 42, 51, 64, 66 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がんセンターがん対策情報センター) | 生活習慣や支持療法等が乳がん患者のQOLに与える影響を調べる多目的コホート研究 | 6 | 68 | 7 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 谷水 正人(国立病院機構四国がんセンター) | 全国のがん診療連携拠点病院において活用可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発 | 6 | 64 | 7, 51, 64, 28, 23, 3 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 畠 清彦(財団法人癌研究会有明病院) | 外来化学療法における部門の体制および有害事象発生時の対応と安全管理システムに関する研究 | 6 | 64 | 7, 51, 64 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 片井 均(国立がんセンター中央病院) | がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 林 謙治(国立保健医療科学院) | たばこ対策による健康増進策の総合的な実施の支援かつ推進に関する研究 | 3 | 31 | 2 | 21,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がんセンターがん対策情報センター) | 医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究 | 5 | 57 | 7, 23, 28, 51, 64 | 20,449 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 飯塚 悦功(東京大学大学院 工学系研究科) | PCAPSを用いたがん診療の質構造知識モデルと質評価指標の開発および計測システムの設計 | 7 | 73 | 64 | 20,257 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 真部 淳(聖路加国際病院) | 働き盛りや子育て世代のがん患者やがん経験者、小児がんの患者を持つ家族の支援の在り方についての研究 | 6 | 61 | 27, 6, 32, 67, 4, 66, 23, 25, 45, 49 | 18,900 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 曾根 智史(国立保健医療科学院 公衆衛生政策部) | がん対策の医療経済的評価に関する研究 | 6 | 64 | 7, 9, 51, 64 | 18,900 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 大野 ゆう子(大阪大学大学院 工学系研究科) | タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 18,200 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渋谷 大助((財)宮城県対がん協会 がん検診センター) | 受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究 | 4 | 44 | 7, 9, 11, 64, 2 | 17,500 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松野 吉宏(北海道大学病院) | バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究 | 4 | 43 | 7 | 16,456 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 木澤 義之(筑波大学大学院 人間総合科学研究科) | がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 15,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮下 光令(東北大学大学院 工学系研究科) | がん患者のQOLを向上させることを目的とした支持療法のあり方に関する研究 | 6 | 68 | 2 | 14,000 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小川 朝生(国立がんセンター東病院臨床開発センター) | がん化学療法後早期から養護の質を向上させる緩和ケア技術の開発に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 14,000 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|-----------------|-------------------------------|---|-------|-------|----------------------|-----------|
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 石倉 聡(国立がんセンターがん対策情報センター) | がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 13,875 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 小松 恒彦(帝京大学 医学部第三内科) | がん医療における医療と介護の連携のあり方に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 12,600 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 明智 龍男(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | がん患者に対するリエゾン的介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的介入の有効性に関する研究 | 6 | 63 | 2 | 11,900 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 今井 博久(国立保健医療科学院 疫学部) | 都道府県がん対策推進計画におけるアクションプランの実施プロセス評価およびサポート体制に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 11,250 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 和田 恵美子(大阪府立大学 看護学部) | がん患者の意向による治療方法等の選択を可能とする支援体制整備を目的とした、がん体験をめぐる「患者の語り」のデータベース | 6 | 65 | 7, 42 | 10,080 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 平井 啓(大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター) | 成人がん患者と小児がん患者の家族に対する望ましい心理社会的支援のあり方に関する研究 | 6 | 63 | 2 | 9,996 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 保坂 隆(東海大学 医学部) | がん患者や家族が必要とする社会的サポートやグループカウンセリングの有用性に関する研究 | 6 | 65 | 7 | 8,400 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 清水 千佳子(国立がんセンター中央病院) | がん患者及びその家族や遺族の抱える精神心理的負担によるQOLへの影響を踏まえた精神心理的ケアに関する研究 | 6 | 61 | 7 | 7,500 |
| 平成21(2009)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 渡辺 敏(千葉県がんセンター) | がん患者に対する緩和ケアの提供体制を踏まえた在宅養への移行に関するバリアの分析とその解決策に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 7,000 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 石倉 聡(神奈川県立がんセンター医療評価安全部) | がん医療の均てん化に資する放射線治療の推進及び品質管理に係る研究 | 6 | 64 | 2 | 27,066 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 石川 睦弓(静岡県立静岡がんセンター) | 地域におけるがん患者等社会的支援の効果的な実施に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 25,200 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 平田 公一(札幌医科大学 医学部) | がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 25,000 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 鎌田 正(独立行政法人放射線医学総合研究所) | 粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究 | 5 | 52 | 42 | 24,283 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 高山 智子(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 24,283 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 後藤 満一(福島県立医科大学) | 消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進 | 5 | 57 | 12, 23, 37, 51, 64 | 21,894 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 中川 和彦(近畿大学 医学部) | オピオイド治療効果に対する実測可能な薬理学的効果予測システムORPSの開発 | 7 | 72 | 2 | 20,480 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 谷水 正人(国立病院機構四国がんセンター) | 全国のがん診療連携拠点病院において活用可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発 | 6 | 64 | 7, 51, 64, 28, 23, 3 | 19,904 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究 | 5 | 57 | 7, 23, 28, 51, 64 | 19,542 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 宮下 光令(東北大学大学院 医学系研究科) | がん対策に資するがん患者の療養生活の質の評価方法の確立に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 19,520 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 木澤 義之(筑波大学大学院 人間総合科学研究科) | 緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 69 | 2 | 19,520 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 生活習慣や心理社会的要因などががん患者の予後や療養生活の質に与える影響を調べる乳がん患者コホート研究 | 6 | 68 | 7 | 18,590 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 的場 元弘(国立がん研究センター中央病院) | がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究 | 6 | 61 | 2 | 18,590 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がん研究センターがん対策情報センター) | エビデンスに基づいたがん予防知識・行動の普及および普及方法の評価 | 6 | 65 | 2 | 18,482 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 畠 清彦(財団法人癌研究会有明病院) | 外来化学療法における部門の体制および有害事象発生時の対応と安全管理システムに関する研究 | 6 | 64 | 7, 51, 64 | 18,482 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 松田 尚久(国立がん研究センター中央病院) | 離島をモデルとした新しい対策型大腸がん検診システムの構築とその実現に向けた研究-新島STUDY | 4 | 43 | 64 | 18,090 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 飯塚 悦功(東京大学大学院 工学系研究科) | PCAPSを用いたがん診療の質構造知識モデルと質評価指標の開発および計測システムの設計 | 7 | 73 | 64 | 17,974 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 加藤 雅志(国立がん研究センターがん対策情報センター) | がん診療連携拠点病院の機能のあり方及び全国レベルのネットワークの開発に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 16,948 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 渋谷 大助((財)宮城県対がん協会 がん検診センター) | 受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究 | 4 | 44 | 7, 9, 11, 64, 2 | 16,586 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 小田 一郎(国立がん研究センター中央病院) | 早期胃がん内視鏡切除症例のWebを用いたがん登録システムによる前向きがん登録に関する研究 | 6 | 62 | 51 | 16,098 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 曾根 智史(国立保健医療科学院 公衆衛生政策部) | がん対策の医療経済的評価に関する研究 | 6 | 64 | 7, 9, 51, 64 | 15,400 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 松村 有子(東京大学医科学研究所) | がん医療に関するメディア報道が国民に与える影響の分析研究及び適正な医療報道のあり方の研究 | 6 | 65 | 2 | 15,372 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1主に政策分野に関する研究 | 清水 研(国立がん研究センター中央病院) | 治療の初期段階から身体・精神症状緩和導入を推進するための研究 | 6 | 61 | 2 | 14,640 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|-------------------------------|---|-------|-------|--------------------------------------|-----------|
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 高橋 都(獨協医科大学 医学部公衆衛生学) | 働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究:患者/家族・人事労務担当者・産業保健担当者の3者の視点を生かした支援リソースの開発、評価、普及啓発法の検討 | 6 | 64 | 2 | 13,725 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松野 吉宏(北海道大学病院) | バーチャルシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究 | 4 | 43 | 7 | 13,725 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 真部 淳(聖路加国際病院) | 働き盛りや子育て世代のがん患者やがん経験者、小児がんの患者を持つ家族の支援の在り方についての研究 | 6 | 61 | 27, 6, 32, 67, 4, 66, 23, 25, 45, 49 | 13,000 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小川 朝生(国立がん研究センター東病院) | がん化学療法後早期から療養の質を向上させる緩和ケア技術の開発に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 12,321 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡邊 清高(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 地域におけるがん対策の推進と患者支援に資する介入モデルの作成に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 12,200 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 明智 龍男(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | 高齢がん患者の治療開始および中止における意思決定能力の評価およびその支援に関する研究 | 6 | 66 | 2 | 12,200 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 津熊 秀明(大阪府立成人病医療センター) | 既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究 | 6 | 62 | 7, 23, 28, 51, 64 | 11,250 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石岡 千加史(東北大学加齢医学研究所) | 東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法のとてん化事業 | 6 | 64 | 30, 67, 51, 64, 28, 23, 7 | 11,230 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 今井 博久(国立保健医療科学院 疫学部) | 都道府県がん対策推進計画におけるアクションプランの実施プロセス評価およびサポート体制に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 9,750 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 平井 啓(大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター) | 成人がん患者と小児がん患者の家族に対する望ましい心理社会的支援のあり方に関する研究 | 6 | 63 | 2 | 9,296 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 澤井 高志(岩手医科大学 医学部) | 地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルシステムを利用した学習ツールの開発 | 6 | 65 | 2 | 7,320 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 清水 千佳子(国立がん研究センター中央病院) | がん患者及びその家族や遺族の抱える精神心理的負担によるQOLへの影響を踏まえた精神心理的ケアに関する研究 | 6 | 61 | 7 | 7,000 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡辺 敏(千葉県がんセンター) | がん患者に対する緩和ケアの提供体制を踏まえた在宅療養への移行に関するバリエーションの分析とその解決策に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 6,635 |
| 平成22(2010)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 森 美智子(日本赤十字秋田看護大学 看護学部) | がん患者のQOLに繋がる在宅医療推進に向けた、総合的がん専門医療職のがん治療認定医、がん専門薬剤師と協働するナース・プラクティショナーに関する研究 | 6 | 64 | 2 | 6,600 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 平田 公一(札幌医科大学 医学部) | がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究 | 5 | 57 | 2 | 25,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石倉 聡(名古屋大学 大学院医学研究科) | がん医療の均てん化に資する放射線治療の推進及び品質管理に係る研究 | 6 | 64 | 2 | 22,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 睦弓(静岡県立静岡がんセンター) | 地域におけるがん患者等社会的支援の効果的な実施に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 22,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 後藤 満一(福島県立医科大学) | 消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進 | 5 | 57 | 12, 23, 37, 51, 64 | 21,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 塚崎 邦弘(長崎大学大学院 歯歯薬学総合研究科) | ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備 | 6 | 64 | 67 | 21,429 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡邊 俊樹(東京大学大学院 新領域創成科学研究科) | ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究 | 2 | 24 | 67 | 21,429 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 高山 智子(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究 | 6 | 65 | 2 | 20,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 黒田 達夫(慶應義塾大学 医学部) | 小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 19,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 中川 和彦(近畿大学 医学部) | オピオイド治療効果に対する実測可能な薬理学的効果予測システムORPSの開発 | 7 | 72 | 2 | 19,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮下 光令(東北大学大学院 医学系研究科) | がん対策に資するがん患者の療養生活の質の評価方法の確立に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 17,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 祖父江 友孝(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究 | 5 | 57 | 7, 23, 28, 51, 64 | 17,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 的場 元弘(国立がん研究センター中央病院) | がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究 | 6 | 61 | 2 | 17,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 内丸 薫(東京大学医学研究所) | HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進 | 6 | 65 | 67 | 17,142 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 木澤 義之(筑波大学大学院 人間総合科学研究科) | 緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 69 | 2 | 16,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 飯塚 悦功(東京大学大学院 工学系研究科) | PCAPSを用いたがん診療の質構造知識モデルと質評価指標の開発および計測システムの設計 | 7 | 73 | 64 | 15,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 加藤 雅志(国立がん研究センターがん対策情報センター) | がん診療連携拠点病院の機能のあり方及び全国レベルのネットワークの開発に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 15,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小田 一郎(国立がん研究センター中央病院) | 早期胃がん内視鏡切除症例のWebを用いたがん登録システムによる前向きがん登録に関する研究 | 6 | 62 | 51 | 15,000 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|------------------------------|---|-------|--------|---------------------------|-----------|
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松田 尚久(国立がん研究センター中央病院) | 離島をモデルとした新しい対策型大腸がん検診システムの構築とその実現に向けた研究-新島STUDY | 4 | 43 | 64 | 15,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 戸井 雅和(京都大学大学院 医学研究科) | 抗がん剤効果予測による乳がん患者の再発リスク抑制と毒性軽減および医療経済負担低減に関する検証的研究 | 4, 6 | 44, 64 | 7 | 14,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 生活習慣や心理社会的要因などががん患者の予後や療養生活の質に与える影響を調べる乳がん患者コホート研究 | 6 | 68 | 7 | 14,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 榎本 隆之(大阪大学大学院医学系研究科) | 日本における子宮頸癌予防HPVワクチンの医療経済的評価のための大規模臨床研究 | 6 | 64 | 9 | 13,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 高橋 都(獨協医科大学 医学部公衆衛生学) | 働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究。患者/家族・人事労務担当者・産業保健担当者の3者の視点を生かした支援リソースの開発、評価、普及啓発法の検討 | 6 | 64 | 2 | 12,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松村 有子(東京大学医学研究所) | がん医療に関するメディア報道が国民に与える影響の分析研究及び適正な医療報道のあり方の研究 | 6 | 65 | 2 | 12,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松野 吉宏(北海道大学病院) | バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究 | 4 | 43 | 7 | 12,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 清水 研(国立がん研究センター中央病院) | 治療の初期段階から身体・精神症状緩和導入を推進するための研究 | 6 | 61 | 2 | 12,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小澤 美和(聖路加国際病院) | がん診療におけるチャイルドサポート | 6 | 61 | 2 | 12,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 明智 龍男(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | 高齢がん患者の治療開始および中止における意思決定能力の評価およびその支援に関する研究 | 6 | 66 | 2 | 11,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 加藤 元嗣(北海道大学病院) | ピロリ菌除菌による胃癌予防の経済評価に関する研究 | 6 | 64 | 51 | 11,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮城 悦子(横浜市立大学附属病院 化学療法センター) | 地方自治体および地域コミュニティー単位の子宮頸がん予防対策が若年女性の意識と行動に及ぼす効果の実効性の検証 | 6 | 65 | 9 | 10,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 津熊 秀明(大阪府立成人病医療センター) | 既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究 | 6 | 62 | 7, 23, 28, 51, 64 | 10,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小松 恒彦(帝京大学 医学部第三内科) | より有効ながん医療政策の決定に資する、がん対策に対する医療経済評価に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 10,000 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石岡 千加史(東北大学加齢医学研究所) | 東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法均てん化事業 | 6 | 64 | 30, 67, 51, 64, 28, 23, 7 | 9,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡邊 清高(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 地域におけるがん対策の推進と患者支援に資する介入モデルの作成に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 9,200 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 長島 文夫(杏林大学 医学部) | 高齢がん患者における高齢者総合的機能評価の確立とその応用に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 9,100 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 今井 博久(国立保健医療科学院) | 都道府県がん対策推進計画におけるアクションプランの実施プロセス評価およびサポート体制に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 8,700 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡辺 敏(千葉県がんセンター) | がん患者に対する緩和ケアの提供体制を踏まえた在宅療養への移行に関するバリアの分析とその解決策に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 6,600 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 清水 千佳子(国立がん研究センター中央病院) | がん患者及びその家族や遺族の抱える精神心理的負担によるQOLへの影響を踏まえた精神心理的ケアに関する研究 | 6 | 61 | 7 | 6,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 澤井 高志(岩手医科大学 医学部) | 地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発 | 6 | 65 | 2 | 6,500 |
| 平成23(2011)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 森 美智子(日本赤十字秋田看護大学 看護学部) | がん患者のQOLに繋がる在宅医療推進に向けた、総合的がん専門医療職のがん治療認定医、がん専門薬剤師と協働するナース・プラクティショナーに関する研究 | 6 | 64 | 2 | 5,800 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 平田 公一(札幌医科大学 医学部) | がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究-診療動向と治療成績の変化- | 6 | | 2 | 23,300 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石倉 聡(名古屋大学 大学院医学研究科) | がん医療の均てん化に資する放射線治療の推進及び品質管理に係る研究 | 6 | 64 | 2 | 23,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 塚崎 邦弘(国立がん研究センター東病院) | ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備 | 6 | 64 | 67 | 20,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡邊 俊樹(東京大学大学院 新領域創成科学研究科) | ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究 | 2 | 24 | 67 | 20,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 木澤 義之(筑波大学 医学医療系臨床医学域) | 緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究 | 6 | 69 | 2 | 20,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 黒田 達夫(慶應義塾大学 医学部) | 小児がんの罹患数把握および晚期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 19,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石川 睦子(静岡県立静岡がんセンター) | 地域におけるがん患者等社会的支援の効果的な実施に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 19,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 後藤 満一(公立大学法人福島県立医科大学) | 精度の高い臓器がん登録による診療ガイドラインや専門医育成への活用に関する研究(24110501) | 6 | | 2 | 18,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 中川 和彦(近畿大学 医学部) | オピオイド治療効果に対する実測可能な薬理学的効果予測システムORPSの開発 | 1 | 72 | 2 | 17,500 |

| 年度 | 事業名 | 分野 | 研究代表者 | 研究課題名 | 一桁CSO | 二桁CSO | サイトコード | 交付決定額(千円) |
|--------------|------|------------------|------------------------------|---|-------|-------|----------------------------------|-----------|
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 高山 智子(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 相談支援センターの機能の評価と地域における活用に関する研究 | 6 | | 2 | 17,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 内丸 薫(東京大学医学研究所) | HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進 | 6 | 65 | 67 | 16,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮下 光令(東北大学大学院 医学系研究科) | がん対策に資するがん患者の療養生活の質の評価方法の確立に関する研究 | 6 | 62 | 2 | 16,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 戸井 雅和(京都大学大学院 医学研究科) | 抗がん剤効果予測による乳がん患者の再発リスク抑制と毒性軽減および医療経済負担軽減に関する検証的研究 | 6, 4 | 64 | 7 | 15,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山本 精一郎(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 生活習慣や心理社会的要因などががん患者の予後や療養生活の質に与える影響を調べる乳がん患者コホート研究 | 6 | 68 | 7 | 14,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 榎本 隆之(新潟大学 医歯学系) | 日本における子宮頸癌予防HPVワクチンの医療経済的評価のための大規模臨床研究 | 6 | 64 | 9 | 14,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 的場 元弘(国立がん研究センター中央病院) | がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究 | 6 | 61 | 2 | 13,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 高橋 都(獨協医科大学 医学部公衆衛生学) | 働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究-患者/家族・人事労務担当者・産業保健担当者の3者の視点を生かした支援リソースの開発・評価・普及啓発法の検討 | 6 | 64 | 2 | 13,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 加藤 元嗣(北海道大学病院) | ピロリ菌除菌による胃癌予防の経済評価に関する研究 | 6 | 64 | 51 | 11,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小澤 美和(聖路加国際病院) | がん診療におけるチャイルドサポート | 6 | 61 | 2 | 11,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 小松 恒彦(帝京大学 医学部第三内科) | より有効ながん医療政策の決定に資する、がん対策に対する医療経済評価に関する研究 | 6 | | 9, 23, 51, 64, 7, 42, 37, 24, 30 | 11,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 松田 尚久(国立がん研究センター中央病院) | 離島をモデルとした新しい対策型大腸がん検診システムの構築とその実現に向けた研究-新島STUDY | 4 | 43 | 64 | 11,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 明智 龍男(名古屋市立大学大学院 医学研究科) | 高齢がん患者の治療開始および中止における意思決定能力の評価およびその支援に関する研究 | 6 | 66 | 2 | 11,000 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 津熊 秀明(大阪府立成人病医療センター) | 既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究 | 6 | 62 | 7, 23, 28, 51, 64 | 10,800 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 宮城 悦子(横浜国立大学附属病院 化学療法センター) | 地方自治体および地域コミュニティ単位の子宮頸がん予防対策が若年女性の意識と行動に及ぼす効果の実効性の検証 | 6 | 65 | 9 | 10,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 加藤 雅志(国立がん研究センターがん対策情報センター) | がん診療連携拠点病院の機能のあり方及び全国レベルのネットワークの開発に関する研究 | 6 | 64 | 2 | 9,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 石岡 千加史(東北大学加齢医学研究所) | 東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法の均てん化事業 | 6 | 64 | 30, 67, 51, 64, 28, 23, 7 | 9,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 清水 研(国立がん研究センター中央病院) | 治療の初期段階から身体・精神症状緩和導入を推進するための研究 | 6 | 61 | 2 | 9,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 渡邊 清高(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 地域におけるがん対策の推進と患者支援に資する介入モデルの作成に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 9,200 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 長島 文夫(杏林大学 医学部) | 高齢がん患者における高齢者総合的機能評価の確立とその応用に関する研究 | 6 | 61 | 2 | 9,100 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 植田 誠治(聖心女子大学 文学部) | 学校健康教育におけるがんについての教育プログラムの開発研究 | 6 | | 2 | 8,216 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 山内 英子(聖路加国際病院) | キャンサーサバイバーシップ 治療と職業生活の両立に向けたがん拠点病院における介入モデルの検討と医療経済などを用いたアウトカム評価-働き盛りのがん対策の一助として- | 6 | | 2 | 7,053 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 助友 裕子(国立がん研究センターがん対策情報センター) | 学童を対象としたがん教育指導法の開発およびその評価 | 6 | | 2 | 6,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 東 尚弘(東京大学大学院 医学系研究科) | がん対策における管理指標群を算定するための既存データの可能性に関する研究 | 6 | | 2 | 6,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 米盛 勲(国立がん研究センター中央病院) | 若年がん患者を取り巻くがん診療・緩和治療支援の政策提言に資する研究 | 6 | | 2 | 6,500 |
| 平成24(2012)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 森 美智子(日本赤十字秋田看護大学 看護学部) | がん患者のQOLに繋がる在宅医療推進に向けた、総合的がん専門医療職のがん治療認定医、がん専門薬剤師と協働するナース・プラクティショナーに関する研究 | 6 | 64 | 2 | 5,800 |
| 平成25(2013)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 平田 公一(札幌医科大学 医学部) | がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究-診療動向と治療成績の変化- | 6 | | 2 | 23,000 |
| 平成25(2013)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 塚崎 邦弘(国立がん研究センター東病院) | ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備 | 6 | 64 | 67 | 22,300 |
| 平成25(2013)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 後藤 満一(公立大学法人福島県立医科大学) | 精度の高い臓器がん登録による診療ガイドラインや専門医育成への活用に関する研究(24110501) | 6 | | 2 | 18,800 |
| 平成25(2013)年度 | がん臨床 | 分野1 主に政策分野に関する研究 | 内丸 薫(東京大学医学研究所) | HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進 | 6 | 65 | 67 | 16,200 |